

機械器具 74 医薬品注入器
一般医療機器 経腸栄養注入セット 70400000

ジェイフィールド EN Y ジョイント

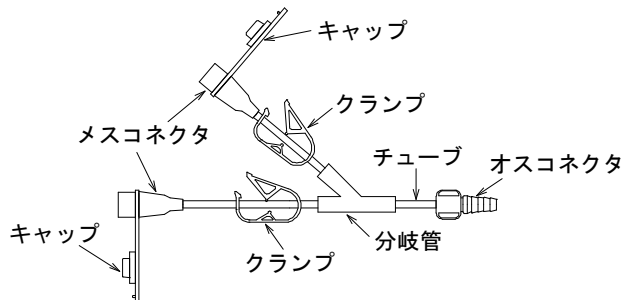
再使用禁止

【禁忌・禁止】 再使用禁止

【形状・構造及び原理等】

本品は、メスコネクタ、クランプ、分岐管、チューブ、オスコネクタからなる。

〈構成(代表例)〉



- ・PVCフリー規格はポリウレタンを使用している。
- ・DEHPフリー規格はポリ塩化ビニル(可塑剤:トリメリット酸トリ(2-エチルヘキシル))を使用している。

〈仕様〉

項目	性能
耐圧性	20kPa
引張強度	15N

【使用目的又は効果】

胃又は腸に挿入したカテーテルと連結して栄養剤、医薬品等を投与する器具。

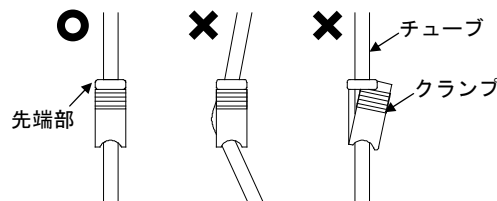
*【使用方法等】

1. 包装から本品を取り出します。
2. 一方のクランプ及びメスコネクタのキャップを完全に閉めます。
3. もう一方のメスコネクタを栄養投与セット等のオスコネクタに接続します。
4. 本品のオスコネクタを栄養カテーテル等に接続します。
5. 側注する場合は、もう一方のメスコネクタのキャップを開け、注入器等を接続し、クランプを開けて注入します。投与後はクランプを完全に閉め、注入器等を外しメスコネクタのキャップを完全に閉めます。

〈使用方法等に関連する使用上の注意〉

1. 個包装を開封する際は、はさみ等の刃物を使用しないこと。[本品を傷つけ、液漏れが生じるおそれがある。]
 2. 栄養カテーテル等を接続する際は、過度なかん合をしないこと。
[コネクタが外れない、又はコネクタが破損するおそれがある。]
- *3. コネクタのテーパ部に栄養剤等が可能な限り付着しないように注意すること。[接続部に緩みが生じるおそれがある。]
4. クランプを使用した場合は、投与再開時にクランプ部分のチューブの閉塞、変形に注意すること。

- *5. クランプを閉じる場合は、クランプ先端部をまっすぐ押すこと。
[斜めに押した場合やクランプ先端部以外の箇所を押した場合、チューブが完全に閉塞しないおそれがある。]



6. 鉗子及びクランプはチューブと硬質部品の接合部では操作しないこと。[チューブが破損する、又は接合部が外れるおそれがある。]
- *7. チューブを鉗子等で傷つけないように注意すること。[鉗子の根元又は先端でクランプすると、チューブが破損し液漏れ、空気混入等が生じるおそれがある。]

【使用上の注意】

〈重要な基本的注意〉

1. 使用中は次の事項に注意し、本品を定期的に確認すること。
 - (1) 本品が患者の下敷きになっていたり、ガートルスタンド等に引っ掛かったりしていないこと。[チューブの閉塞、外れ又は構成品の破損の原因となる。]
 - (2) コネクタの接続の緩み、液漏れ、破損、閉塞及び空気混入等の異常がないこと。
2. チューブの接合部を曲げたり、チューブを過度に引っ張ったり、押し込むような負荷がかからないようにすること。[接合部の外れ及び液漏れ、チューブの破損等が生じるおそれがある。]
3. 粘度が高い又は不溶解物を含む栄養剤等を投与する場合、流量の管理に十分注意すること。[詰まり等により、流量に変化が生じるおそれがある。]

〈不具合・有害事象〉

その他の不具合

空気混入、漏れ、潰れ、捻れ、外れ、緩み、詰まり、亀裂、切断、破損

【保管方法及び有効期間等】

〈有効期間〉

3 年 [自己認証(当社データ)による]
包装の使用期限欄を参照すること。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者
株式会社ジェイ・エム・エス
電話番号: 082-243-5806